

市民活動支援センターは、社会に貢献しようとする市民、市民活動団体を応援します。

上尾市市民活動支援センター情報誌



むすびん

平成25年
10月
第10号

〒362-0075 上尾市柏座1丁目1番15号

TEL:048-778-1810 FAX:048-778-1820 E-mail:s53500@city.ageo.lg.jp

公開講座はセカンドライフの生きがい探し

地域で活かそう第2の人生 ～生きがいを見つけてみませんか～

退職後、地域で何か
やってみたい人

自分のこれまでの経験を
地域で活かしてみたい人

これからの人生設計を
考えてみたい人

地域に「行くところ」
「やること」「会う人」
を見つけた人

ボランティア活動や
地域活動に興味がある人

もっと仲間を増やしたいと
思っている人



『むすびん』第9号(7月号)で予告した今年度の公開講座の詳細が決まりました。

タイトルは「地域で活かそう第2の人生 ～生きがいを見つけてみませんか～」です。

今年の公開講座では、講演やパネルディスカッションで第2の人生を充実させるヒントや市内の活動団体の活動をご紹介します、シニア世代の地域デビューについて知っていただきます。

皆さんの参加をお待ちしています。

○日時 2013年11月30日(土)

午後2時から5時30分まで

○定員 70名(先着順)

○ところ 上尾市文化センター 301号会議室

○参加費 無料(ただし、交流会参加費100円)

○申し込み 直接又は電話、ファックス、メールで市民活動支援センターまで。

1部 講演「わがよきセカンドライフの作り方」

講師/シニアライフアドバイザー

松本すみ子さん

シニアや団塊の世代の方がどうやって地域に参加できるのか、第2の人生を華やかに充実したセカンドライフを送ることができるのか。その解決方法を学びます。

2部 パネルディスカッション「今、地域活動がおもしろい！」

☆「地域活動の参加と進め方」/尾山台地自治会 会長 NPO法人ふれあいねっと代表 尾上道雄さん/一番身近なエリアで活動を知る方法や仲間づくりの方法を学びます。

☆「福祉ボランティアの今」/上尾市ボランティア連絡会会長 柿崎美千代さん/誰かの役に立ちたい...小さなことから始めよう。

☆「学校応援団とは？」/上尾小学校きらきら応援団 推進長 平山裕さん/あなたの力は地域の子供たちのために活かせるかも。学校でボランティアを体験してみましよう。

コーディネーター:松本すみ子さん

3部 交流会/参加者や活動団体とお茶を飲みながら、どんなことができるのか?テーマを設けて話し合い、活動のきっかけ作りをします。

上尾駅前市民塾

第3期分

「上尾駅前市民塾」の本年度第3期(平成26年1月～3月)の受講者を募集します。

●内容／

①1月11(土)「あげお駅前さんぽ～旧中山道上尾宿と旧鎌倉街道に行く～」／講師・青木健さん(まなびすと指導者バンク活動推進会議)

②2月8(土)「お財布と環境にやさしいエコライフ～家庭でできるエコライフ～」／講師・安田信一さん(上尾STOP温暖化連絡会)

③3月1日(土)「“いつも”の中に“もしも”の備えを～お弁当にぴったり、保存食を使った防災メニュー～」

／講師・菊谷裕子さん・安藤由美さん(ハッピーアイランド)

※時間はいずれも午後2時30分～4時30分

●ところ／市民活動支援センター会議室

●対象／市内在住か在勤の方

●定員／各講座25人 ※3講座とも申し込み多数の場合は抽選

●参加費／無料 ※ただし①「あげお駅前さんぽ」は保険料50円

●申し込み／住所、氏名、年齢、電話番号、受講希望科目、市民塾をどこで知ったかを、直接または電話、ファクス、メールで12月1日(日)までに上尾市市民活動支援センター(4ページ下段参照)へ

子どもや高齢者の憩いの場に

協働レポート

原市みどりの再生ボランティアの会

平成25年度の「協働のまちづくり推進モデル事業」に採択された「原市みどりの再生ボランティアの会」は、約5ヘクタールの「原市ふるさと緑の景観地」(原山、通称:どんぐり山)などの整備活動を続けています。

今回の採択事業では、市と協働して原山の一部の老木を伐採し、苗木の植樹などにより、自然林を再生させる取り組みを中心に、藤波・中分地域の整備ボランティア団体の支援などを行います。

同会は上尾東ロータリークラブの25周年記念事業としてスタートし、発足当初から地域の人に参加を呼びかけ、平成21年7月に「原市みどりの再生ボランティアの会」と名称を改め現在約120名の会員がいます。毎月第2・4土曜日の午前9時から

11時まで、伐採や下草刈りなどを続けたところ、人が踏み入れられないよううっそうとした雑木林が、高齢者や親子が集う憩いの場に生まれ変わりました。10月13日には、ミュージックフェスティバルも開催され、地域住民が森に親しむ交流の場となりました。

会長の黒須勇さんは、「自然や地域を守り、保存しようという皆の気持ちがそろい、継続した活動ができています。ほかの地域にも広がっていけば」と話していました。



ボランティアフェスティバルのご報告

上尾市社会福祉協議会主催のボランティアフェスティバルが8月10日、コミュニティーセンターで行われました。当日は気温35度を超える猛暑の中、市内約35団体が参加し、外の暑さに負けないくらいの熱気で盛り上がりました。当センターのブースにも、たくさんの皆さまに来訪をいただき、ありがとうございました。より多くの方に、「駅前市民塾」や「協働モデル事業」、「公開講座」など当センター事業に関心をもっていただけるよう努めます。

シリーズ 活動団体紹介



アルコール依存症からの回復を目指して

A・A上尾グループ

A・Aは1935年にアメリカで始まり、現在約180の国と地域にひろがる、飲酒問題を解決しようとする人たちの活動です。会の名前「A・A」は「アルコールクス・アノニマス」の頭文字で、「無名のアルコール依存症者たち」を意味します。参加メンバーが名前や連絡先を明かさなくてもよい自由を表し、個人が特定されないよう配慮されています。

上尾グループの活動は週2回、市民活動支援セン



ターと上尾公民館で、夜のミーティングを中心に行っています。会のプログラムに基づき、アルコール依存からの回復を目指す人たちが、それぞれの経験談を話すことで問題を分かち合い、仲間同士支え合って健康を取り戻していこうとする活動をしています。

また、克服したメンバーが病院や施設を訪問し、同じ症状で苦しんでいる人たちに経験を話し、回復を手助けする活動も行っています。

ミーティングは誰でも参加できるオープン方式で開催していて、本人を中心に、家族や友人、医療・福祉関係者など常時約20人前後の関心のある人が集まっています。

A・A上尾グループ

事務局連絡先:090-1857-2406

ものづくりの楽しさを教える

「やったー、飛んだ！」。自ら作った竹とんぼを飛ばす子どもたちの間に歓声が上がりました。竹とんぼクラブがアブセック創立10周年記念イベントとして、市コミュニティセンターで8月に開催した「みんなで作って遊ぼう竹とんぼ教室」に親子45人が参加し、竹とんぼや竹笛づくりに挑戦しました。

同会は、全国組織の「どこ竹@竹とんぼ教室」のリーダー養成講座を受講したメンバーが、地元の



アブセック竹とんぼクラブ

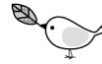
子どもたちにもものづくりの楽しさや工夫することの大切さを教えようと、平成18年4月に立ち上げました。現在は21人の会員が指導者となって熱心に取り組み、幼稚園や小学校、市内の祭り、子ども向けイベントなどで教室を開き、年間約3000人に竹とんぼづくりなどを教えています。

工作の安全面を考えて小刀などは使わずに、羽根を火であぶってねじる竹とんぼは、小さい子どもでも自分で作る楽しさが体感でき、小学校高学年になると、飛ぶ原理なども理解できるといいます。代表の廣重泰さんは、「子どもたちと会話しながら一緒に楽しめるので、会員の喜びにもつながっています」と話していました。

アブセック竹とんぼクラブ 代表:廣重泰さん

連絡先:商工会議所内アブセック事務局

電話 048-773-3111 アブセック会員募集中!



ポイント解説 Q&A

Q. 「地域デビュー」の「地域」って？

A. 「地域」の活動団体でまず思い浮かぶのは、皆さんがお住まいの地域の町内会や自治会だと思います。また、広く考えれば、町内会や自治会などの狭い地域に限らず、上尾市という地域で活動している団体も地域活動団体といえます。

「遠くの親戚よりも近くの他人」といわれるように、いざというときには隣近所の人たちが頼りになるものです。町内会や自治会は地域の人々のつながりを大切にし、より住みよい地域をつくっていくことを目的として、さまざまな活動を行っています。すでに町内会や自治会へは加入していると思いますので、そこを通じて地域の人々との触れ合いを深めてみましょう。

町内会や自治会の活動には、災害が発生した時のための防災訓練や子どもたちの安全のための防犯パトロール、夏祭りや運動会など幅広くさまざまなものがありますので、お住まいの地区の班長さんや役員さんに気軽にお尋ねになってみてはいかがでしょうか。

イベント ボランティア掲示板

ボランティア募集しています！

『くらしフェスタ第 31 回上尾消費生活展』の開催当日の運営補助ボランティアを若干名募集します。詳細は実行委員会事務局まで。

日時: 11月23日(土)～24日(日)

会場: 上尾市コミュニティセンター

連絡先: 同展実行委員会事務局

＝電話 048(775)0800

映画鑑賞やバザーのお知らせ

ボランティアグループ「P-1(ピーチ)」とアート&サロン「妖精の森」は毎月、映画上映会とチャリティーバザーを開いています。11月は、10日(日)に浅間台のカフェ「SOMEN HOUSE」で上映会、22日(金)は震災避難者の支援等を目的としたバザーを緑丘の「妖精の森」で行います。参加費はいずれも100円。

問い合わせ・申し込みはいずれも深沼マリさん

＝電話 048(773)8795

編集後記

◆秋といえば、芸術の秋や食欲の秋、スポーツの秋などいろいろ思い浮かびます
◆上尾市内でも「美術展覧会」「あげお産業祭」「シティマラソン」などの行事が待っています◆外出に最適な季節、秋風に吹かれながら市内行事にお出かけになってはいかがでしょうか (照)(枝)(麻)

皆さまからのイベント、ボランティア情報をお待ちしています!!

◎編集・発行 **上尾市市民活動支援センター** 

開館日 : 火～日 午前9時～午後9時(日曜は午後5時)まで

休館日 : 毎週月曜、土・日を除く祝日、年末年始

電話 : 048(778)1810 FAX: 048(778)1820

Eメール : s53500@city.ageo.lg.jp

ホームページ : <http://www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s53500/>

【案内図】



情報誌タイトル「むすびん」は、「結ぶ」と「お便り」を合わせており、人、市民活動団体、市などを結びつきたいという思いを込めています。